

発行所(郵便番号100)  
東京都千代田区丸の内2-4-1  
丸の内ビルディング781号室  
社団法人スウェーデン社会研究所  
Tel (212) 4007-1447  
編集責任者 高須裕三  
印刷所 関東図書株式会社  
定価150円(年間購読料貳千円)  
1976年4月25日発行  
第8巻 第4号  
(毎月1回25日発行)  
昭和44年12月23日第3種郵便物認可

# スウェーデン社会研究月報

Bulletin Vol. 8 No. 4

Japanska Institutet För Svensk Samhällsforskning  
(The Japanese Institute for Social Studies on Sweden)  
Marunouchi-Bldg., No. 781. Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

## 近代「自然誌」の原点に還帰することの

## 今日的意味について

—ツェンベリー来日200年に寄せて—

On the Fundamental Meaning of To-day's Return  
to the Original Point of modern "Historia naturalis"

—On the Occasion of the 200th Anniversary  
of Thunberg's Visit to Japan—

常務理事 日大教授 高須裕三  
Managing Director, Prof. Yuzo Takasu

本誌新年号にも書きました通り、スウェーデンと日本との、またヨーロッパと日本との学術文化交流の第1ページにその名を記されるべきC. P. ツェンベリーの来日200年記念行事が、本年5月18日を中心に約1週間にわたって開催されます。

その準備委員会によって、その「趣意書」が下記のように発表されましたので、是非ご一読下さい。その文中に「近代『植物学』や近代『自然誌』の原点に立ち帰る」ことの今日的重要性が提言されています。それは、決して約200年以前のツェンベリーの仕事に敬意を払わせようとするこじつけの着想ではありません。

世界史を大観すれば、18世紀の後半にスタートした「近代」という時期は、今日で約200年を経過しましたが、概論すれば、その前半は「上昇」期、その後半は「下降」の勢運を示しています。ことに20世紀になってからは、人類は再度の世界大戦の惨害に会い、1970年代に入っては「公害」に直面させられています。そこで今日、「近代科学」のあり方についての功罪が改めて問われています。

このとき、近代科学の原点としてのツェンベリーに還って、それを見直しましょう。「植物学」

は自然を尊重し、生命を保護し、環境を大切にする学問であり、それが「科学」の原点であったのです。このことは、ツェンベリーが「植物学者」であると同時に「医者」であったことの根拠でもあったのです。

また20世紀「下降期」の科学は、一律的・機械主義に墮して、個物に宿る個性を無視して、情を忘れた冷たい社会を作ってきました。しかしツェンベリーに還れば、近代科学の原点は「自然誌」であり、そこでは美醜強弱を問わず、個々の植物ことごとくが存在理由を内蔵しておったのです。

私たちは、いま「近代」の末期にあると同時に、「近代」を超克して新しい時代を創造してゆくべき旋回点に立っています。それは同時に「近代の

### No. 3 目次

ツェンベリー来日200年に寄せて…高須 裕三…	1
スウェーデン経済の動向……………永山 泰彦…	2
ストックホルム情報……………菊池 幸子…	4
スウェーデン老人は老後をいかに…高橋たか子…	5
スウェーデンの幼児の絵をみる…今井 陽子…	7
最近のスウェーデン社会・経済ニュース……………	9
福祉社会の流通・生協視察調査団へのお誘い…	11
近刊紹介……………	12

原点」に還ることでもあるのです。ツェンペリーの今日的意義はまことに大きいと思われまゝ。そしてさらに、リンネ・ツェンペリーの系譜を生んだスウェーデンの社会的体質の伝統にも改めて関心を注ぎたいものです。

#### ツェンペリー来日年記念行事「趣意書」

今年、1976年は、日本への西洋近代科学導入「200年」の記念すべき年に当たる、ということができましよう。

日本が西洋近代科学に結ばれた著名な出来事としては、蘭学の医者、杉田玄白・中川淳庵・前野良澤らが「ターヘル・アナトミア」を入手し、江戸の刑場での解剖と比較し、直ちにその翻訳に取組んだのが1771年、その訳書の刊行が1774年、という歴史的事実が誰の脳裏にも浮かぶことと思われまゝ。

しかし、近代西洋科学の日本への導入ないし交流という線を、真の意味で考えるならば、それは単なる書籍の流入・翻訳だけではなく、彼我、学者としての人物同士の接触・相互作用があったことが大切な要素となります。

その意味で、日本の近代科学への目覚めの上にもたらされたツェンペリーという人物の、学術交流者としての意義を見のがすことはできません。

植物分類の学祖リンネ（スウェーデン人）の直弟子であり、のち師の跡を継いでリンネの分類体系を発展させた者が、このカール・ペーター・ツェンペリー（1743～1828）であります。彼は同時に医師でもありました。

彼が鎖国時代の日本にはるばる来て、長崎の出島に着いたのが1775年8月14日でした。翌年、出島のオランダ商館長の江戸参府に医師として随行し、4月27日から5月25日までの約ひと月を江戸に滞在しました。そして十代将軍・家治（在位

1760～1786）の謁見を賜った日が5月18日でありました。

この江戸滞在の約1か月が、ツェンペリーおよび当時の日本人の蘭医たちによるスウェーデンと日本との学術交流、ひいては西洋と日本との人的な文化交流史上の第一頁を飾るハイライトとなりました。

彼は、同年（1776）12月3日長崎を出帆して日本を離れ、1779年に故国スウェーデンに帰り、1784年には待望の「日本植物誌＝フローラ・ヤポニカ」が出版され、日本の植物812種が記載され、新属26、新種390が紹介されたといわれます。また彼は、その旅行記（邦訳名「日本紀行」）により、極東の国・日本を当時の世界に紹介したことで、ケンペル、シーボルトとともに、近世日本文化史を彩った三大外国文化人の一人と評価されています。

このツェンペリーの江戸滞在から数えて今年には200年に当たるので、本年5月18日を中心に、彼の東西文化交流の先駆者としての偉業を回顧し、スウェーデンと日本との文化交流の今日的意義を考え、近代「植物学」や近代「自然誌」の原点に立ち帰り、そこから現代の学問や文化を創造してゆく方向についての貴重な示唆を汲みとるべき記念の行事が、スウェーデンからの専門学者数氏を迎えて、在日スウェーデン大使館および日本植物学会を主催者の両翼として、東京・京都・長崎において展開されることになっております。

私どもは、そこに日本・スウェーデン両国の学術・文化の協同の成果を深く期待しうるものと信じております。この問題に御関心の深い皆様のご協力を切に期待申上げる次第でございます。

1976年4月

ツェンペリー来日200年記念行事  
準備委員会

## スウェーデン経済の動向— スタグフレーション回避して安定成長を

Trends of Swedish Economy

東海大学助教授 永山泰彦

Assistant Prof. of Tokai Univ., Yasuhiko Nagayama.

### 1 世界的な同時不況

1973年秋の石油ショックを発火点として、1974～75年は世界的な不況に巻込まれた。それは、最

も基礎的な資源・エネルギーである石油価格の高騰によるインフレを鎮静化させ、同時にの原油輸入価格の高騰による国際収支の赤字を防ぐために、各国が一せいに強烈なデフレ政策をとったため

第1表 主要各国の実質経済成長率と失業率

国名	実質経済成長率			失業率	
	1973	1974	1945	1974	1975
スウェーデン	3.2	4.3	1.5(予)	1.5	1.2
ノルウェー	4.2	3.7	3	1.3	1.5
日本	10.2	△1.8	2.0	1.4	1.9
アメリカ	5.9	△2.1	△2.0	5.6	9.1
西ドイツ	5.3	0.4	△3.6	2.6	4.5
フランス	6.0	3.9	△2.5	-	-
イギリス	6.0	0.1	△1.6	2.7	3.7
カナダ	6.8	2.8	0.2	5.4	7.1
イタリア	5.9	3.2	△3.5	3.8	-

資料 OECD. 失業率は  
ILO, Bulletin of Labour Statistics

ある。その結果、先進諸国および非産油開発途上国は、戦後最悪の不況、それも失業とインフレが同時に進行するスタグフレーションに陥ってしまった。

第1表に示したように、1974年にはアメリカ合衆国のマイナス2.1%を最低に、次いで日本（マイナス1.8%）、イギリス（0.1%）、西ドイツ（0.4%）と先進諸国は、ゼロないしマイナス成長を記録した。続く1975年は、前年度よりもさらに悪化し、プラス成長を示したのは日本、スウェーデン、カナダおよびノルウェーの4ヶ国だけで、各国は軒なみマイナス成長を記録した。なお、日本の場合、相対的に成長率は高いようにみえるが、1969~73年の年平均成長率は、約9.6%に達し、OECD平均の5.5%の約2倍であったため、落込みのショックはマイナス成長を記録した国々と変わらないはずである。

各国はマイナスないしゼロ成長を記録したばかりでなく、デフレ政策の結果、高い失業率を記録し、さらにやつかないことには、物価も下がらないスタグフレーションを経験した。第一表と、消費者物価の推移（対前年騰落率）を比較すると、失業率はアメリカが、74、75年でそれぞれ5.6、9.1、カナダが、5.4、7.1、西ドイツの2.6、4.5%となり、消費者物価上昇率も2桁を記録した。わが国の場合、失業率自体は、1.4、1.9%と非常に低いが、終身雇用制という封鎖的な労働市場を前提にしているので、通常完全失業率よりも有効求人倍率を、労働市場の需給関係をより正確に示す指標として用いている。有効求人倍率というのは、月間有効求人数を月間有効求職数で割った倍率であ

第2表 主要各国の消費者物価の推移  
(年平均騰落率、1968~75年)

	1968	69	70	71	72	73	74	75年 (注)
スウェーデン	2.0	2.6	7.0	7.4	6.0	6.8	9.9	6.7
日本	5.3	5.3	7.6	6.1	4.5	11.7	24.5	11.8
アメリカ	4.2	5.4	5.9	4.3	3.3	6.2	11.0	9.9
西ドイツ	1.6	1.9	3.4	5.3	5.5	6.9	7.0	6.5
フランス	4.6	6.4	5.3	5.5	6.2	7.3	13.4	11.8
イギリス	4.7	5.4	6.4	9.4	7.1	9.1	16.0	27.7
イタリア	1.3	2.7	4.9	4.8	5.7	10.8	19.1	16.7

資料: monthly Bulletin of Statistic

注: 1975年は1975年7月の対前年比

るが、この数値は40年代を通じて常に1.0を上回っていたのが、50年には0.52~0.53と昭和30年以來の最低を記録している。OECDの調査によると、OECD加盟国の約3億人の労働力のうち約1,500万人が職を失なった。

## 2 スタグフレーションを回避できた

### スウェーデン経済

74~75年には、OECD加盟の先進工業諸国は、高い失業率、鉱工業生産の停滞、ゼロ成長などの不況の波を被ったばかりでなく、高い物価上昇率をとともうスタグフレーションを経験した。75年にプラス成長になった、4ヶ国のうちの日本とカナダは、失業とインフレーションを同時に経験している。カナダの場合、失業率が7%を越えている。

ところが、スウェーデンおよびノルウェー2ヶ国は、石油ショック後の74、75年も完全雇用を維持し、物価上昇率も1桁にとどまった。これには、スウェーデンは1970年代の初めに景気後退を経験し、74年が景気のピークだったことも影響しているであろう。しかし、日本も74年は円切上げショックが回復し74年は景気の上昇期であったはずで

第3表 北欧4ヶ国の失業率、労働力に対する比率%

	1974 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> 半期	1974 <sup>2</sup> / <sub>4</sub> 半期	1975 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> 半期
スウェーデン	2.5	1.7	1.8
ノルウェー	1.3	1.3	1.5
フィンランド	2.3	1.5	2.1
デンマーク(注)	4.0	9.6	12.8

(注) デンマークは失業統計のとり方が北欧3ヶ国と異なり、登録者数を用いているので、1975年の12.8%は他の国の7~8%に相当する。

第4表 北欧4ヶ国の経済成長率

	1973	1974	1975年
スウェーデン	3.2	4.3	1.5 (予)
ノルウェー	4.2	3.7	3.0
フィンランド	6.0	3.5	1.5
デンマーク	3.5	1.0	0~-1

Source: Federation of Swedish Industries

第5表 スウェーデンの工業生産高推移  
1973~1975年(対前年上昇率)

	1973	1974	1975
原材料産業	11.0	4.5	-5.5
投資材産業	8.5	12.0	6.0
消費材産業	1.0	2.5	1.5
建設資材関連	5.0	-2.5	-2.5
小計	7.1	7.1	2.0
雑貨	8.5	4.0	2.5
製造業合計	7.4	6.5	2.0

資料: Federation of Swedish Industries

あること、他のEC諸国も同様に本来74年は必ずしも不況の年ではなかったはずである。

この事実は、ECに加盟し大陸の経済に組込まれたデンマーク経済とスウェーデン、ノルウェーを比較するとより一層明らかになる。デンマークはEC加盟後は、北欧経済よりもEC経済により関係が深くなり、74、75年にゼロ成長を経験し、失業率も7~8%に達し、物価上昇率も2桁に達している。第3、4表は、それぞれ北欧4ヶ国の失業率と経済成長率を示しているが、デンマークとその他北欧3ヶ国の経済のパターンが明らかに

異なっている。

スウェーデンが、辛くも世界的不況下に完全雇用を維持し、物価上昇率も1桁にとどめた事実は注目される。要するに、スウェーデン経済は、スタグフレーション体質になっていなかったことは注目されよう。

1974、75年のスウェーデンの経済も、海外の影響をまともに受けた。とりわけ、EC、旧EFTA諸国への輸出は激減している。ところが、投資基金政策によってすばやく投資を奨励し、国内の経済活動の沈滞を防止している。第5表は、73~75年までのスウェーデン産業の特殊分類別生産高を示しているが、スウェーデンの輸出産業の中心の原材料(主に鉄鉱石、木材など)、消費材部門は不振であるのに対し、投資材産業は停滞をまぬかれた。なお、76年にはスウェーデンの主な輸出先であるEC諸国の経済が回復するため、原材料産業の成長は明るい見通しである。

また、スウェーデン独自の労働市場政策が、かなり効果的に運用されたのも影響している。労働市場政策は、一般経済政策と組み合わせ、労働市場の構造的な問題を、教育訓練などの手段で積極的に解決し、単なる完全雇用ではない最適雇用(効用と効率の極大化をはかる)の実現をはかる点にねらいがある。その結果、先進国で問題になるコスト・インフレ体質を基本的に解決す点に特徴がある。労働市場政策の結果、フィリップス曲線を左下にシフトさせ、不況期の物価上昇を回避できたと言えよう。

## ストックホルム情報二編

菊池幸子教授より

### —ストックホルム日本人補習学校開設—

#### —ストックホルムのマリヤスコーランで—

3月13日、土曜日、ストックホルム市、マリヤスコーラン(Mariaskolan)において、日本人補習学校が開校された。

児童数は、両親とも日本人の家庭の子ども25人と、片親が日本人で他の一方がスウェーデン人の家庭の子ども約15人で、合計約40人となっている。

この学校は、毎週土曜日の午前中、4時間ずつの授業(国語・算数・社会)を行ない、日本の義務教育の学校(とくに小学校)教育の補習を行なうもので、スウェーデンでの開校は初めてである。学級は複式3学級(低・中・高学年別)と国語2学級(日本語だけを教える)で、教員は当分6名、責任者(校長 Rektor)は、Kikuchi Bäckvallであるが、在スウェーデン日本人の各層の代表からなら学校運営委員会が運営の任に当る。なお学校

運営の財政は、日本政府およびスウェーデン政府の両者からの援助による。

開校式には日本大使はじめ、在スウェーデン日本人の代表が多数出席し、盛大であった。故国を遠く離れた北欧で、日本人に、日本の教育を行なうことは容易ではないが、各方面からの期待は大きい。

**Sweden-Japan Foundationがセミナー開催—Japanese Way of Managementのテーマで—**

3月17日(水)に、Japan-Sweden FoundationとJETROとの共催によるセミナーが開催された。当日は折からの雪にもかかわらず、スウェーデンの大中企業の代表者約100名が参集し、終始誠に熱心に、日本の企業経営のあり方について討論が行なわれた。

とくに印象的だったのは、Prof. Yoshimori が、日本の企業の経営構造について解説を行なうと、これに呼応して、Gadelius と Sandvik から、日本における manage の経験談が述べられ、さらに Hitachi で実務の経験をもつスウェーデン人が実態報告を行ったことであった。日本企業の家族主義的経営法は、ヨーロッパ人の理解しにくい問題のようであるが、日本人としても反省を要する点はあるようである。Chairman は終始Prof. H. Bohlin がつとめたが、ストックホルム大学からも、Prof. Cho, Prof. K. Bäckvall ほか4名が参加した。最後に、JETROの配慮によるカクテルパーティーが催され、和やかな雰囲気の中に、学者と実務家による、日瑞文化の交流が力強く行なわれた。

**寄稿**

**スウェーデン老人は老後をいかに**

ストックホルム市在住 高橋 たか子

スウェーデンでは、現在、国民が67歳になると国民年金(1ヶ月、938クローネ、約6万5千円)の対象になる。(今年7月1日より65歳に改正される)平均寿命の延長(現在男性72歳、女性77歳)とともに、1900年の初めには、全人口の8.4パーセントであった老人の数が、今年あたり、全人口(約810万人)の15パーセントに増加してきている。

首都ストックホルム市を例にとると、人口68万のうち15.2パーセントが老人で、若い人たちが郊外にどんどん引越すするため、あと5年もすると4人に1人(ストックホルム市の人口は61万人に減少見込)は老人という統計がでてくる。したがって、市が老人福祉に力を入れるのは当然である。

—今年「老人の年」—

そこで今年、1976年を「老人の年」と定め、老人たちが、ストックホルムの町に適応するのではなく、町自身が、もっと老人に適する様、「老人たちの存在と彼らの問題」を、考えるよう主にストックホルム住民、各政党、マスコミ、学校、会社、工場に向かいキャンペーンを開始する。

老人たちに住み良い町、と一生懸命のようだ。

—老人たちの経済状態—

収入が国民年金(国民基本年金+補足給付金)

だけの老人には住居補助が市から出される。

国民年金だけの老人の経済状態

収入項目	年間(単位クローネ)	支出	年間(クローネ)
国民基本年金	9,215	住居費	4,900
補足給付金		食費	4,700
	2,037	衣服	900
住宅補助	4,800	その他(新聞代、旅行代、コース代、テレビ、小使いなど)	5,504
合計	16,052	合計	16,004

(住居費 31.1% 衣服 5.8%)  
(食費 29.2% その他 33.9%)

上の表からも証明されるように国民追加年金(ATP)の無い老人たちも経済的には、保障されている。

その他、家庭奉仕員サービス、食事配送、髪、足の手入れ、車サービス、学校給食開放、余暇活動のアレンジ、デイセンターなど福祉王国、スウェーデンは、制度的にも、いたりつくせりのようだ。

しかし、経済的、制度的に充実した中で老人たちは、実際、どの様に老後をすごしているのだろうか  
ニールス老人(70歳、元国家公務員)ニールス・パリアルンドさんは、現在、永年住みなれたア

パートに住む。国民年金、国民追加年金(ATP)を合わせて収入が、1ヶ月約4千クローネ(約30万円)、税金を40パーセント払い、手元に残る額が2,500クローネ(約18万円)。アパート代900クローネ(6万円余)払っても、十分に生活できるそうだ。

「経済的には充分保障されている。しかし問題は、時をいかに楽しくすごすかだ。今まで8時間働いていたからね。」とニールスさん。

現在ABFという成人学校で若者達といっしょに、日本語を勉強中。「日本語はたいへん、むづかしい。」と言いながら、ひらがな、やさしい漢字、会話ならこなす。語学には若い頃から興味があり、ドイツ語、英語、フランス語のみならず、スペイン語、ロシア語までこなす。

「停年後、趣味、お茶のみ友達をみつけようとしても、なかなかむづかしい。生きがいのある楽しい老後のためには、若い頃から準備が必要だ。8時間仕事をしていた時には、やりたくてできなかったことが、たくさんあった。今は、それが実現できる。」と、人生は、これからだとばかりのニールス老人。

自分でやりたいことが、いっぱいあるので市が、アレンジしてくれる。いろいろな活動に参加する暇が無いと、自分で自分の生きがいや楽しみを、みつけていく頼もしいタイプの老人だ。

彼の1日は、朝8時起床。簡単な朝食、新聞を読み11時昼食。それから散歩したり、友人を訪問したりされたり、読書、語学の勉強。18時夕食、以後、テレビを見、10時から11時に寝床。水曜日だけは例外。

6時から8時までの2時間日本語コースに参加。「やりたいことはたくさんあるけど、体力的に思ったことの半分もできない。」とニールスさんは苦笑。

積極的に自分から楽しみ、生きがいを求めていく彼には孤独を感じる暇もなさそう。

彼の場合、「上手に老人になった」良い例のようだ。

しかし、そうでない老人のため、市、各成人学校・各種団体などの組織が、いろいろな催物を行なって、老人たちを活動参加にさそっている。

たとえば、ストックホルム市では、こんなことを行なっている。

散歩クラブ、英会話(フランス語、ドイツ語、その他、各種の語学) ボーリング、トランプクラブ。



バス、外国旅行クラブ、サーカス、劇、映画観賞クラブ。織物などの手芸クラブ、絵画、その他、数えきれないほどのコース、催し物をアレンジしてストックホルム市だけでも、これらのローカルが大小さまざま70ヶ所ある。

1つは老人たちの健康を保つため、また、自分の趣味を通して友達をつくったり、生きがいをみつけようというものである。

いつ、どのようなコースや、催し物が行なわれるかは、毎月1回発行、無料で老人達の手もとに配られるベルコンメン誌(いらっしやい誌)に紹介される。「このようなコースや、催し物になんらかの形で参加する老人は50パーセント以上だ。」と老人余暇コンサルタント、ヨーラン・ヤルデンさんは語る。

「核家族化がゆきわたっているスウェーデンでは、老人の孤独問題が一番大きい現実問題だ。」と社会福祉局、広報課のグニラ、ポセリウスさん。

「もちろん、老人たちに楽しい生きがいのある老後が送れるよう、社会側も、いろいろ努力はしているが、無理に老人たちを参加強制はできない。

だから孤独だとすねてくらすより、むしろ、自分からも積極的に楽しみをみつけることが重要だし、また、ある年令から上手に老人になるように心がけることも、ぜひとも必要だ。」とグニラさんは再び語る。

そのため「上手になるための準備コース」が、いま話題になっている。「老人心理学」などと合わせて、各成人学校、ある工場など、すでにコースを設けて実施しているところもある。停年までの何年間、そのコースに行き、上手に老人になるよう、心の準備をしようというわけだ。

#### ——50歳時で退職後の準備を——

ここスウェーデンでは毎年約5万人が停年退職する。

「30年、40年と仕事をしてきて、停年だからと仕事を急に止めるのは精神的・肉体的に良くない

ことは明らかな。」と再びグニラさん。

スウェーデンでは、この停年問題が、多くの人たちにとって重要かつ現実問題ゆえ、カロリンスカ病院では、この問題の研究に力を入れはじめている。

そのうちの一人、心理学者ベクト・エドグレンさんは、停年退職に適應するのがむづかしいタイプを三つあげている。

- ① 仕事の鬼だった人…仕事、仕事で趣味などもつ暇のなかった人。
- ② キャリアリスト
- ③ 重労働者…重労働のため肉体的に疲れ、自

然に無気力になり、日々テレビを見るのが精一っぱいだった人。

だから停年後を楽しく有意義に過ごすためには、50歳時で、自分の側から準備すべきだとアドバイスしている。

また、その一環として、動きのある停年制が話題になっている。

一応、停年制を65歳とする。しかし60歳から70歳までの間、自分が停年退職をしたい時を決定できる。重労働した人は、60歳で仕事をやめ、年金対象者になっても、自分が健康なら歳まで半日づつ働いていいというものである。

## 寄稿

# スウェーデンの幼児の絵をみる

## —ストックホルムの保育所を訪ねて

Infant Art in Sweden

東京学芸大学大学院・美術教育専攻 今井陽子

Yohko Imai

### ○保育所を訪ねる



私が訪問した保育所は、電車の駅から歩いて2分という便利な所に位置して、周囲は赤松の木立ちの中に、アパートがゆったりとした間隔をおいて立っていると環境の中にありました。子供向けの低い窓や、白いフェンス、単順な長方形の外観から、保育所はすぐにそれと分かりました。

私はともかく、この建て物の中央部の玄関の扉を恐る恐る開けてみました。ワッと子供の声が聞こえてくるだろうという予想はずれ、意外に静かで少し驚いているところへ、背の高い女の人が出て来て、私を愛想よく迎えてくれました。

コートを脱ぎながらふと見ると、壁にはずらりと子供たちのコートが掛けられています。なあんだ、日本の幼稚園と変わらないかと、早合点しながら、私は玄関からすぐのスタッフの控え室にはいりました。そこで職員の方々全員と顔を合わせて薄いコーヒーを戴きながら、保育所の様子をいろいろと尋ねてみました。

### ○怪獣、お家、ピエロの絵

この保育所には、3歳から6歳までの就学前の幼児が36名ほど通って来るとのことでした。

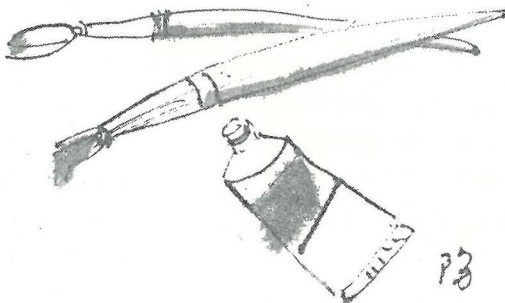
コーヒーをいただいてから、入口からはいって左手にある二間続きの部屋をまずのぞいてみました。どうやら遊戯室のようです。壁には子供たちの絵がペタペタと貼ってあります。一体全体、スウェーデンの子供たちってどんな絵を描くのだろう？近づいてみると、あるある、怪獣の絵があった。やっぱりここにも怪獣の絵がありました。緑色で、とげのような物が背中に付いています。でも、スウェーデンの子供たちの描く怪獣——北欧風というとトルということになるのでしょうか——は、日本の子供たちのそれに較べると下手です。日本のように、マスコミを通じてやたらに怪獣のイメージを見せつけられるということがない

ためでしょうか。顔がユーモラスで、少しも凶猛に見えません。

お家の絵もあります。ちょっと良い絵だなと思ったのは、画用紙を数枚、縦長につなげて描いた、ひよろ長の紫色のピエロです。ピエロといえば、ストックホルムで一度お目にかかりました。それも歴史博物館で。子供連れの大人がゆっくりと見学できるようにと、そこの博物館のお子様預り所でピエロのショーをやっているのに、私がたまたまぶつかったというわけです。このピエロの絵を描いた子もきっとピエロのショーを見た後に描いたのだらうと、私は改めて西洋の子供たちのピエロに対する愛着ぶりを知りました。日本の子供の絵にピエロが出てくることはあまりありませんが、西洋の子供たちの作品には割合多く見られる題材なのです。しかも、子供の印象が強いらしくて、ピエロの作品には優秀作が多いのです。

絵を見て全体から受けた感じは、やはりよくいわれている通り、日本の子供のものよりもカラフルで、おっとりした作品が多いようです。紋切り型の概念画のチューリップやお姫様や自動車を描く子供は全体として日本より少ないようですが、お家を好んで描く子供が多いのには驚きました。この傾向はデンマークでも同じように見受けられました。デンマークの美術の先生が、「生徒がお家ばかり描くので困る」とこぼしていたのを覚えています。でも、悪質漫画の影響はあまり受けていないようです。パンダやうさ子ちゃん式の絵は一枚も見られませんでした。

### ○指導ぬきのお絵かき



それでは指導方法を見学しようと思い、2日程、私はこの保育所でねばってみました。ところが、いくら待っても一向に先生が中心になって何か指導するという気配が見えません。子供たちは食事、睡眠の時間の他は、銘々がやりたいと思っている事を、勝手に行っているという風でしたし、絵も

描きたいと思った時に勝手に描くという様子でした。そして先生は、後からそっとやって来て、「何を描いている？」と聞くくらいで、またその子供のそばからすぐに離れてしまいます。日本のように、「さあ、今の桃太郎のお話を思い出して絵を描いてみましょう」などと、子供全員に絵を描く事を強要するような事は少しも見られません。このような、各人がその気持に従って、自己のペースで造形活動を行うというやり方は基礎学校の高学年（日本の中学校に当る）の美術の授業でも見られました。実に、スウェーデンの幼児は描きたい物を描きたい時に描くのです。だから、お絵かきのカリキュラムはありません。お絵かきどころか、年間の指導カリキュラムすらないのです。日本では、秩序立ったカリキュラムを立て、そしてそれを実行しているのを当然の事と思っていた私には、これにはさすがに何か理解できないものを感じました。そこで、この点に関して私が質問をしてみると、ある先生が「もちろんお話を聞かせてあげたりする事もあるわ。でも、もっと大切なのは、子供が自分を取り囲む世界と自分の係わりを知る事じゃないかしら。」と答えて下さいました。要するに、教科的な事よりも生活が第一、という事なのでしょう。

### ○手、足のスタンピング

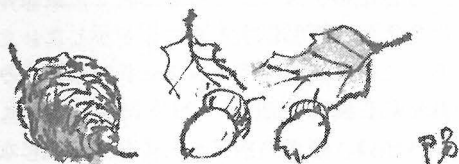
私が見学中、一回だけ、ちょっと変わった事がありました。子供たちの手と足の裏に絵の具をつけてのスタンピングです。多分、一種の成長記録なのでしょう。台紙に名前を書き込んでいました。これと似たものに、日本でもよく行われる“人形（ひとがた）取り”があります。幼児の背丈以上の紙に子供を寝かせ、他の子供がクレパスで型取りし、後に目鼻を描き込んだり、服の柄を水彩で塗ったりするものです。このようにして出来上がった作品が壁にでかかど貼り付けてありました。これらは「指導」というカテゴリーにはいるかもしれません。

また、この保育所全体で隣りの地区の保育所まで散歩に出かけた時には、私も一緒に着いて行ったのですが、そこでは、“混色の原理”（いくつかの原色を混ぜて、自分の望む色を作ること）を指導しているのにでくわしました。しかし、それといても、直接に教えるというのではなくて、色セロファンを重ねて別の色を作るといった間接的な方法でした。



全体、カリキュラムを立てないというのは、スウェーデンにおける就学前保育の大前提なのでした。こういった、つめ込み主義でない鷹揚な教育の理念の科学的根拠として、一体どのような学説を取り入れているのかといふかしく思いながら伺ってみると、発達心理学はゲゼル (Arnold gesell) の教科書を使っているという事でした。帰国してから調べてみたら、ゲゼルの「学習は学習者の成就を待つ」という“学習成就説”の大家でした。

### ○幼児の手作りのすだれ



この保育所の子供たちの工作による作品は、おもしろいお昼寝に使われる部屋に飾ってありました。天上からぶらさがっている西洋すだれがそれです。私が訪問した時には、これしか作品はありませんでしたが、幼児の共同製作とは思えないすてきな作品です。材料は、木製のミシン用糸巻きと松の実。糸巻きの白と、松の木の黒のコントラストによる自然の風合いを生かしたところは心憎いばかりで、立派に部屋の飾りになります。私はこの作品を見た時、著名なアメリカの美術教育家である、S. ブラックが、「子供は決して飾り物にならないだろうと知っていながら、工作の時間に花瓶敷きや壁掛けを作る」といっていたのを思い出しました。

案内をして戴きながら最後にはいった部屋は細長い教材置き場でした。明りをつけると、その細長い部屋の壁面いっぱいにはビール箱ぐらいの大きさの美しいプラスチック製の容器が棚に並べられてあります。中をのぞくと、さっきの木製の糸巻きのようなものがいっぱいはいっています。他の容器にもそれぞれ天然の材料——貝殻、木の実、いろいろな形をした木製のブロックが沢山はっていました。すごい！なんて贅沢な教材なんだろう。こんなのがふんだんに使えたらどんなによいだろうと、日本で子供たちに教えていた時、子供たちと八百屋さんから戴いてきた段ボール箱で舟やロボットを作っていた私は、この時しみじみと思ったことです。

日本は盛り沢山の学習スケジュールと乏しい教育予算、スウェーデンは少ない教科内容と豊かな教育財政、私がスウェーデンの教育機関を見学して一番深く感じたことはこのことです。全く逆なんだなと思いつつながら、仲良くなった子供たちと別れて、私は保育所を後にしました。

最近のスウェーデンの社会・経済ニュース

## 最近のスウェーデンの社会・経済ニュース

### ノーベル財団

ノーベル賞はスウェーデンが生んだ発明家であり355件を下らない特許の所有主であったアルフレッド・ノーベル (Alfred Nobel) の遺志によって設立されたものである。ノーベルは、この賞を“前年度中に人類の利益に最大の貢献をもたらしたと考えられる人に対して”おくるよう定めた。

1901年に最初の受賞者が出ていらい、合計で461名の著名な物理学者、医者、化学者、政治家、哲学者、文人そして人文科学者がこの賞をうけてきた。1969年にアルフレッド・ノーベル社会経済学賞がスウェーデンの中央銀行である国立銀行

(Riksbank) の手でさづけられて以来、受賞者に経済学者も入ってきた。

アメリカが今日まで126名の受賞者を出して、いかなる他の諸国よりも多い受賞者をほこっている。次いで英国が72名、ドイツとフランスが59名と41名でつづいている。全体では、34ヶ国が1人またはそれ以上の受賞者を出していることになる。

賞をさづけける団体は、物理賞と化学賞は王立科学アカデミー (Royal Academy of Sciences)、医学賞又は生理学への賞はカロリンスカ研究所 (Karolinska Institute)、文学賞はスウェーデンアカデミー (Swedish Academy) である。新設の経済学賞は、王立科学アカデミーが授与する。

平和賞はノルウェー議会のノーベル委員会が授与し (スウェーデンとノルウェーは1905年まで連合王国であった)、この賞は12月10日のノーベル記念日にオスロの授与式で与えられる。

ノーベル財団は大幅に多様化された投資を行っており、これに依って賞金がインフレーションに食われることのない様になっている。財団の基金は1974年末で9,920万クローナ（64億4,800万円）に達し、賞金用の基金だけでも4,750万クローナ（30億8,750万円）に達する。1975年の各賞は63万クローナ（4,095万円）で、これは前年よりも8万クローナ（520万円）多い。1901年の賞は15万800クローナ（980万2,000円）であった。

### ガンの診断に重要な補助装置

フォルクサム（Folksam）保険会社がこの11月にストックホルムで開催した、ガンのTPA及びその他の病状に関するシンポジウムの席上、スウェーデンに於けるガンの診断とコントロールの為の免疫学上のテスト用TPA（ポリペプチド・アンチゲン組織）の面で、大幅な進歩がまもなく生じるであろうと発表された。このシンポジウムはロンドン衛生学及び熱帯病研究所のエメリタス・ジェオフソイ・エドサル教授（Prof E Goeffrey Edsall）が主宰し、9カ国から約50人のメンバーが参加した。

国立バクテリア研究所（SBL）のガン免疫学部門のバティル・ビョルクルンド助教授（Associate Prof Bertil Björklund）の手で開発されたこのTPAテスト法は、事実上ほとんどの病気のなかにひそむガンの可能性又はガンにすすんでいる段階を明示することが可能といわれている。このテストに用いるのは、簡単な血液又は尿の検査と粘膜又は組織からとった塗抹サンプル及び生体組織検査である。

アメリカのスローン・ケタリング・ガン研究所（Sloan-Kettering Institute for Cancer Research）で行なわれた研究によると、513人のガン患者のうち378人が、血液中のTPA値を高め、77人中49人が尿中のTPA値を高めている。ガンの種類別では、胸部ガン、肺及びすい臓ガン、白血病及びリンパ様組織腫、胃・腸ガン及び泌尿器系ガンについての場合の約70～85%の患者には、異常に高いTPA値が発生する。

マルメ中央病院（Malmö General Hospital）での胸部ガンがすすんだ女性患者24人についての研究では、手術後にTPA値が急速に正常化している事から、この数値がガン治療やホルモン治療の効力を示すものとして有用であることが判って

いる。

このTPAテストを用いる事によって、医師は数週間以内に薬がききはじめたか否かを判断できる。他の方法ではこの判断までに時間がかかりすぎ、別の治療を行うのが手遅れとなる。

このTPAテストを臨床でまっさきに用いてきた、エスキルストゥーナ（Eskilstuna）中央病院のロルフ・ルンドストロム（Rolf Lundström）助教授は、1971年から75年までの369人のガン患者におけるTPA値と死亡率とに大きな相関性のある事を報告している。何度くりかえしてもTPA値がマイナスな患者の死亡率は30%にすぎないが、一度以上のテストではっきりとした数値のあらわれる人は、77%以上の死亡率を示した。

さらにこの長期の研究では伝染病で入院をみとめられた約1,800人の患者の20%にみつかった高いTPA値は、患者の病気がよくなり元気になるにつれて、正常値に戻っている。

このTPAテストこそ、近年のガン免疫学の分野での最も興味深い進歩である。これはこのシンポジウムの15の講義と短かいうちあわせの間で得られた結論であった。

### 産業廃棄物から生じる熱の利用

雑誌ニー・テクニク（Ny Teknik）の伝える所によれば、パルプ業界、製鉄鋼業界、化学業界などの56カ所の産業設備から生じる廃棄熱を利用できるならば、スウェーデンは毎年1億クローナ（65億円）相当の25万トンの石油を節約できる。

この事実は産業省の為に計画化にいたる詳細な調査を行ってきたオングパンネフェーレンゲン（Ångpanneföreningen）蒸気利用者連盟一が達した結論である。

この廃棄熱の利用は、すでに現存している技術のみで完全に可能であるといわれている。回収した熱の三分の一はその産業自身が再利用でき、残りは地域の暖房計画に用いられる。

必要とされる転換作業の全コストは2億5,000万～3億5,000万クローナ（162億5,000万円～227億5,000万円）とみつもられている。この転換によって、ほとんどの場合には長期的な利益が生じ、上記56カ所のうち24カ所からは、投資額が10年以内に完全に回収されるものと思うと、同誌はのべている。

## 福祉社会の流通・生協視察調査団

51年8月15日～8月29日(15日間) 旅行費 ¥669,000  
(予定)

1970年代は「消費者の時代」といわれ、大衆消費時代を迎えた消費者は、複雑な消費生活に対応しなければならず、また、世界的なインフレーションが進む中で消費者自らの合理化と同時に、これに対応するべく、流通部門もその方策の選択を消費者以上に迫られているといっても過言ではありません。このような状況の中で、北欧を中心とする自由な経済社会における協同組合と、民間企業との流通分野での公正な競争と共存の関係をとつぶさに調査研究することは、わが国の流通部門が今後の発展を目指すに当って多くの示唆を与えてくれるものと確信いたします。

### 視察・調査の目的

スウェーデンを中心とする福祉社会において、流通部門が一般消費者にどのように対応しているかを、下記の点に注目しながら、調査研究するため、この視察・調査旅行は企画されました。

- 一、ヨーロッパの生協型消費者運動の展開
- 一、一般の小売業（ボランティアチェーン、オーディナリーチェーン）などの販売戦略
- 一、国および自治体の経済政策が流通部門におよぼしている影響

なお、当調査団では、調査内容の焦点を流通部門にしぼっていますが、経済政策、福祉政策などに興味をお持ちの方々にも当研究所は、前二回（1972年、1975年）の福祉国家調査視察団の経験を生かし、かつ在日スウェーデン大使館のご好意を通じ、ご便宜をお計り致しますので、そういう方々のご参加をも歓迎致します。

### コーディネーター

氏名 経済学博士 内 藤 英 憲  
略歴 慶応義塾大学卒業 現在日本大学経済学部教授 社団法人スウェーデン社会研究所理事

### 業務視察先一覧（予定）

国および都市名	視 察 先	特 色
スウェーデン (ストックホルム) (4泊5日)	1. K F	消費協同組合連合会
	2. テストキッチン	
	3. 図書館	協同組合大学
	4. ボール・ゴールド	
	5. 配送センター	全国配送センター (非食品) 地方配送センター (食品) 各種協同組合店舗
	6. OBS! DOMUS, KONSUM	
	7. ニュータウン	ストックホルム郊外の ショッピングセンター をもつニュータウン ボランティアチェーン
	8. ICA (イキャ)	
	9. NK, ÅHLENS	民間デパート
	10. EPA TEMPO	
	11. 消費者 オン プズマン	
	12. 卸・小売研究 所	
	13. FOLKSA- M	保険協同組合
	14. HSB	住宅協同組合
デンマーク (コペンハーゲン) (3泊4日)	1. F.D.B.	消費協同組合連合会
	2. OBS!	ハイパーマーケット
	3. QUVICK- LY	デパートメントストア
	4. BRUGSE- N	スーパーマーケット
西ドイツ (ハンブルグ) (1泊2日)	1. GEG	消費協同組合卸売連合 会
	2. EDEKA	ボランティアチェーン
フランス (パリ) (2泊3日)	FNCC	消費協同組合連合会
イギリス (マンチェスター) (ロンドン) (3泊4日)	1. イギリス生協 本部	生協運動の発祥地
	2. ロッチデール 生協	
	1. 国際協同組合 連盟	
	2. ロンドン生協	

参加ご希望の方には、詳しいパンフレット（募集案内）をお送り致しますので、当研究所へお問い合わせ下さい。

# 職場組織の改善と能率

日本大学教授

高須裕三

中央大学教授

丸尾直美 編著

トヨタ自動車工業(株)取締役

坪井珍彦

職場の再組織

- 労働環境をどう人間化するか
- ライン作業の再組織と改善
- コンベア作業の問題と改善の方向
- 「マン・マシン」のあり方

日本における労働環境の特殊性と対策

- 自動車産業における労働の人間化—トヨタ自動車工業
- 家庭電器産業における労働の人間化—松下電器、三洋電機、三菱電機
- 自動車部品メーカーのモジュール方式—関東精器、日本ラヂエーター

海外企業の職場再組織の実態

- 「組織崩壊現象」に悩む企業
- 作業再組織による画期的な新工場
- 「生産グループ」「推進グループ」による職場の活性化
- ホワイトカラー労働にも人間化を
- 「ジョブ・エンリッチメント」の成功例

頻発する山ネコ・スト、転職率とアブセンティズム（計画的欠勤）の著しい増加、組織の規律喪失ないしディスオーガナイゼーション（組織崩壊）現象の兆候など、先進諸国の工場および労使関係は重大な転換期に直面していると言えよう。

他方、こうした現象に対応する新しい自律的秩序の兆候も各国にみられはじめている。本書で詳細に紹介されているスウェーデンのボルボ社、サーブ・スカニア社、あるいはアメリカのゼネラル・フーズ・トベカ工場などは、作業の画期的な再組織と新方式の導入によって、現代の工場が抱えている問題を解決し、環境改善と能率の両立にめざましい成果をあげている先駆的工場の好例であろう。

日本の場合はどうであろうか。日本はヨーロッパや

アメリカとは事情が違ひ、日本人はもともと勤勉であるし、単一民族であるからコミュニケーションもうまくいっているし、人間的参加の組織もでき上がっている、と見る向きが多いようである。しかし人の意識というものは、契機さえあれば大変化し得るものである。オイル・ショックを契機とした消費者意識の変化で我々はそれを経験済みである。また、よごれる仕事を極端に嫌い、阻害意識の強い最近の若年労働者をつなぎ止めておくために、現場の管理者がどんなに頭を悩ましているかは、もっと知られるべきである。そういう意味で、本書で紹介されているトヨタ、松下電器などの日本の先駆的工場の努力は、大きな参考になるであろう。

発行所 ダイヤモンド社